

(読売新聞社後援)を、全国展開していくと発表した。

キッズテニスは、通常テニスコートの約4分の1の広さで、短く軽いラケット、スポンジボールを用いて行う競技。指導者派遣を協会が行い、全国の幼稚園や小学校などを拠点とした環境整備に取り組む。また、テニスを通して正しい礼儀作法を身につけてもらうため、小笠原流礼法・鈴木万亀子総師範の協力も得て、指導にあたる。

2005年度は全国22都道府県の200―250か所で開催する予定。

12月には全国大会も開催、参加児童の中から競技成績だけでなくマナー面等も考慮した代表児童を選出して、テニス大使として英国に派遣。ウインブルドン選手権で選手にボールを渡す役目を担う、ボールパーソンの練習に参加してもらう

## 「マナー・キッズテニス」

# 新年度から全国展開

日本テニス協会は15日、礼儀作法の習得を目指す小学生以下の児童を対象「幼稚園・小学生マナー・キッズテニスプロジェクト」に、テニスの普及と基本的

計画も立てている。